

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス スマイリーハーツ		2024年12月30日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		プログラム内容により机等の配置を変えている	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	75%	25%		スポットで入れる職員を増やして行きたい
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	75%	25%	限られたスペースの中でも工夫して用具を配置している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		掃除を徹底している	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	75%	25%	子供の特性に応じて相談室を使用している	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		プログラムには目当てを設け、終礼で実施後の振り返りをしている	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		終礼、定期的なミーティングで業務改善につなげている	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		75%		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	75%			外部研修の機会を増やす
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		固定化しないようにプログラム会議を設け、常にマンネリ化しないように心がけ、プログラムの予定は毎月の会報でカレンダーでお伝えしている	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		定期的にケース会議を実施し、直接支援に当たる職員も計画書の評価、作成も検討している	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		5領域に配慮したアセスメントに変え、多方向から確認できるようにしている	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		毎週プログラム会議を設けている	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		特性に合わせたプログラムもあるため、固定 でよい場合もあると思う。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課 後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		毎日個別課題に取り組む時間を設けている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。	100%		朝のミーティング時に通所児童、申し送り、 支援内容の確認を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の 振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		毎日終礼でその日の振り返りを行い、翌日 につなげ、支援内容も確認している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につ なげているか。	100%			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの 必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み 合わせて支援を行っているか。	100%		4つの基本と5領域が含まれるように支援を行 うよう計画を立てている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定 をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		プログラムの中に何らかの選択肢があるよ うにしている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、 そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		管理者か児童発達支援管理責任者が参加して いる	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教 育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	75%	25%		学校関係者からはこちらから提案しても受け 付けられない場合もあるので積極的に情報共 有の場を設けていきたい
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻 の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を通 切に行っているか。	75%	25%	毎回送迎時には先生からのお話も良く聞くよ うにしている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援 事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	50%	25%		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等 へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している か。	0%	75%		対象児童なし
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてス ーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50%	25%	必要と感じた場合にはこちらからお願いして 助言や相談を受ける機会を設けている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する 機会があるか。		75%	地域センターでのお祭りなどに参加している	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0%	75%	出来る限り参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課 題について共通理解を持っているか。	100%		連絡ツールを使い、支援中の様子は写真など でもお伝えしている	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラ ム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会 や情報提供等を行っているか。		75%		昨年ペアレントトレーニングを実施したが参 加者が少なく、今後は就労支援などに向けた 支援プログラムなどを実施して行きたい	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っ ているか。	100%			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思 の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや 家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		必ず面談を行い、普段の様子や変わったこと などモニタリングをして計画書に反映してい る	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、 保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		いつでも気軽にご相談いただける体制を整えている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		100%		必要ないとの声も多いため、保護者会は設けていないが、家族も参加出来るイベントを増やし交流の機会を設けていきたい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		事業所に対するご意見は迅速に対応、反映する体制にしている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		毎月会報を発行し活動内容や連絡事項の伝達を行っている。特に月間カレンダーは見通しを立てる上でとても良いと好評なので続けていく	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		事業所内では視覚支援も重視し支援している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	75%	25%		ご近所さんをご招待出来るようなイベントを設けたい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	75%	0%		策定はできているが実施出来ない訓練もあるので今後は実施していく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	75%	25%		策定されているが中途採用職員への職員間共有も実施していく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		毎日の終礼で情報共有している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	75%	25%		中途採用者ももれなく受講できる機会を設けていく
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%				